

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム はなの家

(ユニット名) 桜 (4階)

記入者(管理者)
氏名 越智 和也

評価完了日 平成 20 年 10 月 2 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所としての理念とユニットの理念を掲げている		具体的に地域の中でという言葉はないが、常に意識の中にあり、様々な取り組みを行っている。
			(外部評価)		
			「ぬくもりは我が家のように」という事業所の理念に沿って、ユニットごとでも職員が相談して、それぞれに理念を作成しておられる。		さらに、この機会を貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に近づく様に、日々取り組んでいる。		日々の忙しさの中で忘れがちになっているので、個々としても、全体としても見つけ直す必要が感じられる。
			(外部評価)		
			各ユニットに、事業所の理念とユニットの理念が掲示されている。職員は、毎朝の申し送り時、理念を復唱されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			学校や地域の行事に積極的に参加することで、自然な形でグループホームのケアについて理解してもらえるよう取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の小学生やボランティアなどの来訪がある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の敬老会、文化祭、サロンや、小学校の運動会に参加をしている。		運営推進会議を通じ、お互いの行事を誘いあい、参加したり、参加して頂いたりしている。
			(外部評価) 運営推進会議時、地域の情報を得て、行事に参加されている。又、事業所の外出の際、運営推進会議のメンバーの方が車いす介助に協力くださった。又、お茶の先生が、定期的に来られ、利用者とお茶を楽しまれている。地元小学校との交流も続いており、「ふれあいクラブ」の児童が、リコーダーを聞かせてくれたり、落語等も披露してくれる。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営母体である医院の医師が認知症についてのセミナーを無料で行った。 また、近所の専門学校の実習を受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員は外部評価を実施する意義を理解しており、一人ひとりが自己評価を行うことで、自身の改善点に気づき、また、全体としても具体的な改善に努めている。		
			(外部評価) 職員一人ひとりが自己評価に取り組み、日々行っているケアを振り返り、課題点や気付いたこと等をミーティングで話し合われた。前回の評価結果を受けて、玄関周りや近隣の散歩等、日常的に外に出る機会を増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議で出た意見を取り入れ、「はな祭り」では「この街で」という松山市の歌を参加者全員で唄った。</p>		10月4日に消防署の方に来て頂き「普通救命講習」を実施した。
			(外部評価)		
			<p>会議時、民生委員の方や町内会長からの地域情報を得て、いきいきサロンへの参加や、ボランティアの受け入れ等につながり、利用者の暮らしが広がっている。又、家族会や同業者との交流も兼ね、会議が行われている。</p>		
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>普段から、市の担当者との係わりがあり、市社協の方には疑問や相談にのってもらっている。</p>		研修に参加し、交流の場を作っている。
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議や法人全体で開催する「花まつり」等に参加いただいたり、支援のこと等について相談に乗っていただいたりしている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>職員会議や家族会でも説明し、必要な場合は活用できるように支援している。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待が見過ごされることが無いよう勉強会などを通じ学び、日頃のケアでは注意を払って防止に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) こちらから細部まで説明し、理解・納得を得ることができている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者、職員は不満や苦情を利用者が言いやすい環境づくりに努めており、外部者に表す機会も設けている。		レベル低下で自分自身で主張できない場合は、家族の意見を尊重している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 何かあればその都度連絡し、報告している。また、面会時には、必ず近況を伝えている。異動も、文章で報告している。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 窓口を設け、苦情や意見については職員間で改善点を話し合い、向上に努めている。		
		(外部評価)	(外部評価) 家族会を年に3回開催し、家族同士で話し合う時間を持っておられる。さらに、日々のご家族の来訪時にお話を聴くようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者は、反映できるよう働きかけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員不足や個々の勤務時間によって十分に調整できない時もあるが、出来る限りの調整は行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ユニットにて固定した職員を配置している。異動の際は説明し、ダメージを防ぐ配慮をしている。		
			(外部評価) 行事の際や日常的にもユニット間で行き来があり、利用者、職員は顔を合わせることが多く、ユニット間での異動は、利用者への影響は少ないと考えられている。各ユニットで職員の写真と名前を掲示されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修内容、日時をわかりやすくファイルし、個々の興味、意欲に応じで参加できる機会を確保している。(勤務調整など)		
			(外部評価) 外部研修の案内は、ミーティングで職員全員に伝わるようになっている。受講希望者は、交代で参加されており、「全国大会」や「四国フォーラム」にも出席をされた。研修時等で得た内容は、ミーティングで発表し、報告書を提出するようになっている。		管理者は、研修に消極的な職員が意欲低下やレベル低下にならないよう、研修受講等を促していきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			勝山地区の7つのグループホームで定期的に集まり、交流の場を作っている。 相互研修などで交流する機会を持っている。		
			(外部評価)		
			地区のグループホーム7事業所が、お互いに運営推進会議に参加し合われたり、定期的に情報交換をされている。グループホーム協議会の相互評価事業では、民家改修型の懐かしい雰囲気のグループホームを訪問され、今度は、利用者も一緒にうかがいたいと話しておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的に親睦会を開いている。		休憩時間と場所の設置や、ゆとりのある職員体制を願いたい。 マッサージ機が欲しい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修費を一部負担するなど協力姿勢がある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前には、本人にも見学に来ていただき、雰囲気を感じてもらうなどしている。 不安なこと、求めていることを親身に受け止め安心してもらえる対応をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談から入居まで、家族ともよく話し合っている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアマネージャーが見極め対応している。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケースバイケースだが、本人の状況に応じた工夫をしている。また、家族と相談し、協力を得ている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>入居前には、できるだけ利用者に見学いただくようにすすめられている。又、管理者がご本人を訪ね、関係作りをされている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>“ありがとう”を互いに言い合える関係づくりを目指し、実践している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者から「ありがとう・おいしかった」の言葉をいただく時等、職員は嬉しく、やりがいを感じると話しておられた。南予に住んでおられた方から「冷汁」の作り方を教わったり、お好きな演歌歌手の歌を教えてください、一緒に歌うこともある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会や季節の行事の参加を呼びかけ、家族の絆を確認してもらい、職員と一緒に支えていく関係を築けるよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 来訪時には、家族と過ごす時間を充分にとり、人によっては、メールやFAX、電話などでより良い関係が築けるよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人の希望に応じて支援している。		馴染みの場所については、本人の希望と家族の協力を得て支援が可能になる。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が自然に会話されている場面が多く見られ、その時は様子をうかがいながらそっと見守っている。 コミュニケーションが取りにくい利用者には、職員が間に入り、関係づくりに協力している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 新施設へ移った利用者と仲が良かった利用者の関係が続くように、互いに訪問しあったり、病院へ行く時間が合うように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			人によっては、家族の協力を得ながら、本人の希望に沿えるように努めている。		
			(外部評価)		
			入居時には、ご家族からご本人のことについてお聞きし、入居後は、事業所での様子や会話の中から思いを知ることができるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族や本人から情報を得ながら把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日頃の生活リズム、活動、心身状態を個人記録に残し、職員間の申し送りと検討のもと現状の把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人と家族の意見を取り入れながら、スタッフ間で意見交換を行い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、ご本人、ご家族からの聞き取りをもとに、職員の気付き等を探り入れ、原案を作成し、ご本人、ご家族に意見をいただくようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				状態の変化に応じて、現状に即した新たな介護計画を作成している。		
			(外部評価)			
					月1回の職員カンファレンス、3ヶ月に1回の評価と見直しが行われている。又、状態変化があった場合には、その都度見直しがなされている。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				日々の記録で、職員間の情報を共有し介護計画の評価と再アセスメントに活かしている。		
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				母体が病院であるため、医療連携体制はとれている。時間外、休日でも緊急時の対応はとれている。		新しい施設ができたので、そちらとも連携体制を取りたい。
			(外部評価)			
					お孫さんの運動会を見に、職員が同行されたり、選挙の期日前投票に行くことも支援されている。併設のデイケアの「踊りの会」を見に行かれることもある。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を通じて民生委員や消防、ボランティアなど協力を得ている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望者には訪問マッサージを利用していただいている。介護タクシーの利用もある。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 勝山地区の連絡会や運営推進会議に参加し、協働している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体病院や関係病院では、迅速に医療を受ける体制がある。また、本人家族の要望があれば、他の医療機関を受診できるよう対応している。 (外部評価) 母体病院の主治医から、週1回往診を受けている。眼科・歯科・皮膚科の訪問診療を受ける方もいる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体病院の医師が専門的知識を有しており、適切な診断、治療を受けられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 施設内に看護職員が配置されている。 また、母体病院の看護師とも連携が取れており、気軽に相談もできる。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 母体病院だけでなく、他の病院とも連携を密にし、情報交換や相談を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人や家族の希望に応じて対応したい。 (外部評価) 現在は、病気の治療のため、入院を希望される方が多いが、「最期まで事業所で居たい」という希望があれば、希望に添うことができることを、ご本人やご家族に説明されている。		早期での話し合いは持ちづらい状況である。 「まだ元気なのに・・・」という気持ちにも配慮している。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 病院など連携を取り、医師への報告や相談など常に行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 馴染み物品を使用することはもちろん、精神的なケアについても情報に基づいた支援を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			どんな状況であってもプライドとプライバシーを損ねないようにやわらかな声かけを心掛けている。		スタッフ間で注意し合うこともある。
			(外部評価)		
			トイレ使用の際、膝にタオルを掛ける等、羞恥心に配慮されている。利用者の状態等のことで、他の利用者の言葉で、ご本人が嫌な思いをされないよう、職員は、利用者の間に入って仲介をされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日常生活の様々な場面で本人の希望や思いのもと、自己決定ができるよう支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			食事や入浴の時間については職員の都合が含まれている事はある。意志表示できる利用者には個別に支援している。		
			(外部評価)		
			朝ゆっくりされている方には、朝食の時間をずらしたり、介護度重度の方は、食事の時間が終わるとちょっと横になる等、その方の状態に合わせて支援されている。外出を希望される方には「敷地内の散歩だけでもできるように」と支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容では2つの事業者が月に1度来られているので利用者に選択してもらっている。 家族に散髪をしてもらっている方もいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者個々の力を十分活用し、準備や片付けを行っている。 (外部評価) 誕生日には、ご本人から食べたい物を聞き取り、回転寿司に行ったり、ご家族と一緒に外食する機会も設けておられる。右手に麻痺のある方も左手で食べられるように、道具や食器を工夫されていた。車椅子の利用者が多く、食事中にトイレに行かれる方もあるので、車椅子にて食事をされている。		車椅子を使用して食事される方について、テーブルの高さや距離等、おいしい食事を楽しめるような配慮が期待される。又、食事時の職員の会話のトーン等についても、この機会に点検されてみてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人より希望があれば一緒に買い物に行き購入している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の排泄のリズムやパターンを把握し、失敗のないよう対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望になるべく沿って入浴できるよう努めている。また、体調に合わせている。		
			(外部評価)		
			入浴されない日でも、足浴されたり、ピー玉で足裏のマッサージの効果を得る等されている。入浴を嫌がられる方とは、職員と一緒に入浴されたケースもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望やその日の体調を見極め休息の支援をしている。昼夜逆転しないよう対応もしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家事やレクリエーションを通し、役割や楽しみが個々に得られるよう支援している。		
			(外部評価)		
			今年、事業所主催のミニ運動会を開催し、利用者に選手宣誓をしていただいたり、ゲームで楽しい時間を過ごされた。利用者は、片付けやゴミ捨て・新聞取り等、それぞれできることをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金はトラブルの原因になることもあるので、個々のお小遣いは職員が管理している。買い物先での支払いは本人に任せるなど支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			計画を立てての外出はあるが、職員配置の関係から、その日の希望に沿った外出は困難な時がある。		
			(外部評価)		
			事業所は、市街地にあり事業所の前にあるホームセンターへ出かけたり、敷地内を散歩されている。時々、花を見に出かけたり、外食に行かれたりもされている。		さらに、外出しにくい方等も外出を楽しめるような支援の工夫が期待される。ご本人やご家族の希望等も聞き取りながら、利用者個々の暮らしを拡げていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節や希望に合わせ、計画を立て機会を作っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者から要望があれば本人と相手のプライバシーに配慮しながら利用できるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問できるようにしている。来訪時には明るく挨拶し、気軽に来ていただけるよう接している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。内容については、ミーティングなどで取り上げ、職員の理解に努めている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間防犯のため玄関に施錠する以外は鍵をかけていない。 (外部評価) 日中は施錠しておらず、エレベーターを利用される方もいる。玄関横にある事務所の職員も、見守りをしてくださっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に一人ひとりの行動と所在に注意を置き、事故がないよう安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要なものは所定の場所に管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員からヒヤリハットの報告や危険への気付きを収集し、事故防止に活かしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応、講習を順番に受け、応急手当の訓練を各自が受けている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練を実施している。 地域の方へは運営推進会議を通じ協力をお願いしている。 (外部評価) 運営推進会議時に避難訓練を行い、ご家族も参加された。「やってみないと分からないことがある。」という感想もあった。消防署の指導のもと、新たに災害対策マニュアルを作成された。		近日中に、事業所独自で夜間を想定した避難訓練を行う予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時には必ずリスクについて家族等に説明を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの体調の変化に注意しており、些細な変化や異常のサインを記録、報告することで早期発見につなげている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 個別に薬箱を用意し、服薬時には2名以上の職員の確認を取って医師の指示通りに服用できるようにしている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 便秘傾向の利用者には飲食物の工夫をしており、適度な運動と腹部マッサージなどを支援している。また、緩下剤を使用することもある。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後の口腔ケアは徹底して行っており、一人ひとりの力に応じた支援をしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) それぞれの食事摂取量や特に注意が必要な利用者の水分摂取量などを随時記録し、栄養や水分が確保できるよう努めている。 (外部評価) 貧血気味の方には鉄分の多い食事を心がけ、利用者の体調や状態に合わせて、食事形態を変えて支援されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 感染症対策マニュアルを作成しており、職員の手洗い、うがいも行っている。また外部からの訪問者、面会者へも注意や対応法など呼び掛けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生肉や生魚の調理の際に使用した用具や食器類は熱湯消毒している。 布巾類も毎日ハイター消毒し、衛生管理に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りには草花、玄関先には季節ごとの飾り(節句の人形、七夕、クリスマス、門松など)を置き、清潔で親しみのある空間づくりに努めている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにはいつも季節の花や造花を飾り、行事やイベントの告知や飾り付けを行うことで四季を感じてもらい、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関やテーブルにお花を飾り、壁には古いレコードジャケットがディスプレイされ、懐かしい曲が流れていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにはテーブル、椅子、ソファ、テレビが設置されており、利用者が思い思いに過ごせるようにしている。 廊下の突き当りにはソファを置き、一人になれる場所も確保している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室には備え付けの家具等は無く、利用者が馴染みのある物を自由に配置できるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者それぞれにタンスやベッドを持ち込み、一人ひとり個性のある居室になっている。管理者は、「病室みたいにならないように」との配慮から、入り口には暖簾をかけられており、ご自分の部屋が分かるようにされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			冷・暖房により利用者が快適に過ごせるよう温度調節を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			施設内はバリアフリーになっており、個々の力を活かして安全に過ごせるよう設備や道具の工夫をしている。 (歩行器、車椅子、手すり、シャワーチェアなど)		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			混乱や失敗を招かないよう建物の設備や物品には配慮している。 解らないことは声をかけ、見守りながらなるべく自力で行えるよう働きかけている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			園芸や家庭菜園を取り入れ、利用者に野菜の収穫に関わってもらっている。 ブドウやプチトマト、シソの葉など収穫した。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者一人一人の思いや願いを知ろうと、常にコミュニケーションをとり、どの様に暮らしたいか、何をしたいか掴もうと努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの際は、共に過ごせており、会話を楽しんでいる。洗濯物干しや洗濯物たたみ、食器洗い、ゴミ捨てなどの家事で個々の力を発揮してもらっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースを尊重している。全介助が必要な方やうまく意思表示できない利用者に対しては、職員が見極めながらも全体の流れに沿っていただくようになることもある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	理念に沿って、利用者本位の支援をすることで、感情豊かに生き生きと過ごされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物には個別に対応している。家族の協力を得て帰宅したり、ドライブに出かける方もおられる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	同一敷地内に医院があり、受診には職員が同行し、医師や看護師の協力を得ているので、利用者は安心して過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の言動から要望を察し、安心して暮らせるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	日々の面会や家族会などを通じ、話し合いの中から信頼関係を築いている。心配事に対しては、より耳を傾け改善できるよう努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の小学生やボランティアなどが時々来て下さり、なじみの関係を築けている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の色々な行事に参加する機会やボランティアなど訪問して下さることが増えている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介護職としてプライドを持ち、日々の出来事から喜びと楽しさを感じながら働いている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の穏やかな表情や笑顔から、満足していただいていると感じる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	気軽に面会に来ていただいております、親しい関係を築けている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・母体が病院であり、新しい関連施設や泌尿器科もできたので、より一層医療連携体制が強まり安心感がある。
 ・運営推進会議を通じ、地域の方や家族との関係が広がり、関わりが増えている。
 利用者の方々と共に、互いに手を取り合い、分からないことがあれば教えていただきながら協力し生活を送って頂けるよう努めている。